

# 外部有識者等による 令和4年度 地方創生交付金活用事業 効果検証結果

## 令和4年度 地方創生交付金活用事業一覧

事業NO.	事業名		外部有識者等による 効果検証結果	
1	モノづくり集積地SUWAのヒトづくりプロジェクト(SUWAモノ・ヒトプロジェクト)	広域連携	総合戦略のKPI達成に向けて有効であった	
	「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む経済好循環の確立を目指し、諏訪地域ものづくり産業のハイブランド化と、ブランドイメージを活かした“ものづくり人材”の UIJ ターン促進や若年層からのキャリア教育・人材育成等を通じた中長期的な人材確保策(SUWA独自のキャリア・サイクルモデル)を展開する。			
2	下諏訪町健康ステーション整備計画	※令和2年度ハード整備実施	下諏訪町単独	総合戦略のKPI達成に向けて有効であった
	旧下諏訪町漕艇庫を改修し、利用者それぞれの目的や体力等に沿った運動を実践できる場として整備する。さらに当町独自の「下諏訪町健康サポーター制度(個人)」を構築し、施設利用者の満足度を向上させるほか、サポーター(個人)は、多様な働き方を行う意欲のある方々に担っていただくことで、新たな働き方創出の場とする。			
3	下諏訪町健康フィールド整備計画	※令和2年度ハード整備実施	下諏訪町単独	総合戦略のKPI達成に向けて有効であった
	一般財団法人諏訪自動車協会が所有する車検場を改修し、「全天候・全世代」に対応できる運動場として整備する。当町独自の「下諏訪町健康サポーター制度(複数)」を構築し、教室参加者の満足度を向上させるとともに、サポーター(複数)を担う人材にとっては、多様な働き方を行う意欲のある住民にすることで、新たな働き方創出の場とする。			
4	下諏訪町「諏訪湖活用拠点」施設整備計画	※令和元年度ハード整備実施	下諏訪町単独	総合戦略のKPI達成に向けて有効とはいえない
	諏訪湖でできるボートやカヌー等の体験型観光プログラムを扱う上での拠点となる施設を整備する。 【整備後は下記の事業を行う予定】 1. 観光面での活用 ・体験プログラムを販売、「遊べる観光地」としての地域のブランド力の向上、イベントの誘致と開催による交流人口の拡大等 2. 健康面での活用 ・各種運動プログラムの開催による地域住民の健康寿命の延伸 3. 防災面での活用 ・湖上を船で物資や人を搬送するための水上防災拠点として機能を併せ持つ施設としての活用			

事業名	モノづくり集積地SUWAのヒトづくりプロジェクト(SUWAモノ・ヒトプロジェクト)						
担当課	産業振興課 商工係	連携自治体	岡谷市、諏訪市、茅野市、原村				
事業の概要・目的	<p>「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む経済好循環の確立を目指し、諏訪地域ものづくり産業のハイブランド化と、ブランドイメージを活かした“ものづくり人材”の UIJ ターン促進や若年層からのキャリア教育・人材育成等を通じた中長期的な人材確保策(SUWA独自のキャリア・サイクルモデル)を展開する。</p> <p>具体的には、産学官民の協働体制を構築し、「①SUWAブランドの販路開拓/技術力・魅力の発信」、「②若年層を対象としたSUWAブランドを活かしたものづくり機会の創出/域内ものづくり企業への就職促進」、「③域内企業向け提案型技術者の育成」を一気通貫で実施する。</p>						
総事業費 ※交付金以外含	2,472,000円	交付金決定額	1,236,000円	交付金充当額 (交付金確定額)	1,236,000円		
経費内容	負担金 2,472,000円						
	合計 2,472,000円						
総合戦略での 位置付け	基本目標	【雇用】地域の個性を活かし、誰もが安心して働ける環境を創出することによって、就労機会の増加をめざす					
	施策	誰もが働きやすいまちをめざす					
	重要業績評価指標(KPI)	町内の新規採用者数					
	実績値	R元年度(基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(最終)
	R7年度目標値70人	63人	55人	58人			
	基本目標	【雇用】地域の個性を活かし、誰もが安心して働ける環境を創出することによって、就労機会の増加をめざす					
	施策	新しい市場を作る					
	重要業績評価指標(KPI)	ものづくり支援センター受発注支援金額					
実績値	R元年度(基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(最終)	
R7年度目標値3億円	2億7,701万円	6億8,255万円	5億8,773万円				

事業詳細	
SUWAブランドの普及・高付加価値化事業	
目的・内容	製造業における諏訪地域のブランド力を多重的に情報発信し、技術力を活かした製品化支援、SUWAブランド知名度向上など地域の稼ぐ力の向上につなげる。
① 実施状況	<p>①NAGANOものづくり諏訪圏域「新技術・新工法展示商談会 in TOYOTA」 ・新型コロナウイルス感染症に伴う規制緩和が進み、当事業初となる対面式で行う“リアル展示商談会”を実施することとした。 ・事業の委託先であるNPO諏訪圏ものづくり推進機構は、諏訪地域の製造業者を募り、トヨタ自動車(株)やそのグループ会社、協力会社に対し自社製品や技術のアピールを行い展示商談会を実施した。</p> <p>②ホームページによる地域商社機能 ・地域のビジネスチャンスの拡大を図り、各企業の技術を紹介する“ひと技PRシート”のプラットフォーム化や、既存の企業紹介サイトと民間運営のビジネスマッチングサービス等を連携させ新たに地域商社機能を有したホームページの作成を行った。</p>
効果・成果	<p>①・出展者49社 ・提案件数77件 ・来場者数408名(1日目:238名/2日目:170名) ・見積、図面検討依頼14件 ・後日訪問37件</p> <p>②マッチング件数32件</p>
関係人口の創出とものづくり人材の育成・確保事業	
目的・内容	若年層の関係人口を増加させるとともに、小型ロケット製作打上やセミナー、支援等を通じて、移住者の創出や中長期的な人材確保と提案型技術者の育成を図る。
② 実施状況	SUWA小型ロケットプロジェクトのワークショップや模型ロケットの打上げ実験等を行ったほか、若年層を対象としたロボット創造教室や親子ものづくり教室、講演会を行った。
効果・成果	<p>①SUWA小型ロケットプロジェクト・ワークショップ 496名 ・ 6/19 40名 ・9/11 33名 ・10/1 80名 ・10/5 91名 ・10/20 35名 ・11/17 34名 ・11/26 51名 ・12/1 85名 ・12/14 47名</p> <p>②ロボット創造教室 ・12/17 10名 ・12/24 8名      ③親子ものづくり教室 7/23 18名</p> <p>④経済講演会(諏訪清陵高校) 3/16 17名</p> <p>⑤SUWA小型ロケットプロジェクト参加信大生 16名</p>

本事業における重要業績評価指標 (KPI)	R4目標値	R4実績値	達成状況	状況の説明(未達成、実績値なしの場合、その理由)
NPO 諏訪圏ものづくり推進機構を介したビジネスマッチング件数(件) ※増加分	49	83	達成	リアル展示会の実施や地域商社機能をもしたホームページの運用に伴いビジネスマッチング数が増加した。
若年層を対象とした事業の参加人数(人) ※増加分	447	565	達成	新型コロナウイルス感染症対策の緩和が進み、ワークショップや小中学校での体験教室の回数を増やした。
新卒・第2新卒者(UJターン含む)等の地域内企業への就職者数(人) ※増加分	174	159	未達成	全体として就職希望者数が減少していることに加え、職種の多様化、進学率の上昇等の影響により未達成となった。
粗付加価値額(億円) ※増加分	前年度実績+9	実績値なし	実績値なし	経済センサスの数値を用いるため、令和4年度実績は令和6年度にわかる。

事業期間における本事業における重要業績評価指標 (KPI)		R2	R3	R4	合計	達成状況
NPO 諏訪圏ものづくり推進機構を介したビジネスマッチング件数(件) ※増加分	目標値	50	53	49	152	達成
	実績値	38	39	83	160	
若年層を対象とした事業の参加人数(人) ※増加分	目標値	700	256	447	1,403	未達成
	実績値	206	397	565	1,168	
新卒・第2新卒者(UJターン含む)等の地域内企業への就職者数(人) ※増加分	目標値	60	220	174	454	達成
	実績値	210	169	159	538	
粗付加価値額(億円) ※増加分	目標値	2,325	2,266	前年度実績+9	4,591	実績値なし
	実績値	2,257	実績値なし	実績値なし	2,257	

事業効果	③地方創生に効果があった
理由	KPIにおいては4項目中の2項目が目標を達成した。新型コロナウイルス感染症対策の緩和が進んできたR4年度であったが、ロシアのウクライナ侵攻を契機とする急激な円安、電気・エネルギー・物価高騰など様々な影響が重なり、日本経済は依然として厳しい社会情勢が続いている。こうした社会情勢の中で目標値に達しなかった項目があるものの、一部KPIで目標値以上の実績を得られたことから事業により一定の効果があつたとみなし、③地方創生に効果があつたとする。

<事業効果>

- ①地方創生に非常に効果的であった 例:全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
- ②地方創生に相当程度効果があつた 例:一部のKPIが目標値に達成しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
- ③地方創生に効果があつた 例:KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
- ④地方創生に対して効果がなかった 例:KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言えないような場合

今後の方針	⑤事業の終了(当初予定通り事業を終了する(または、した))
今後の方針の内容(発展や改善、見直しの具体的な内容)	令和2年度から3か年のプロジェクトとして事業展開を行ってきたが、新型コロナウイルス感染症やウクライナ侵攻等の影響で最大限の事業効果を得ることができなかった。3か年の事業計画により、事業を終了とする。

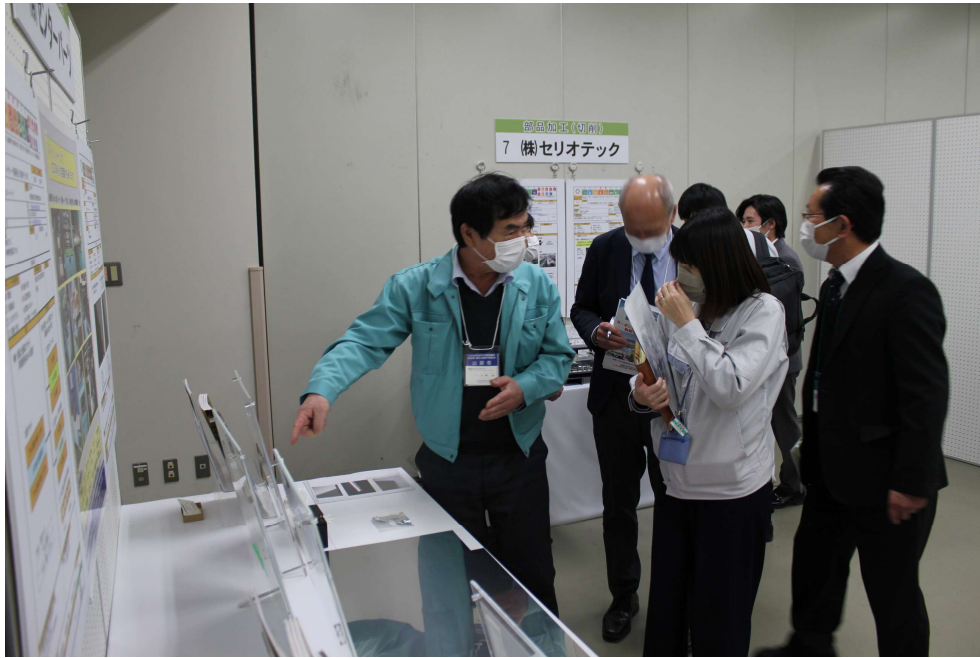
<今後の方針>

- ①事業の継続(計画通りに事業を継続する)
- ②事業の発展(事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる)
- ③事業の改善(事業の効果が不十分であったことから見直し(改善)を行う(または、行った))
- ④事業の中止(継続的な事業実施を予定していたが中止する(または、した))
- ⑤事業の終了(当初予定通り事業を終了する(または、した))

外部有識者からの評価	本事業は総合戦略の重要業績評価指標(KPI)達成に有効であつた / 有効とはいえない
外部有識者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小型ロケットプロジェクトは夢のある企画でものづくり人材育成に効果があつた。</li> <li>・工場見学等により、子供たちに地元にも世界に通用する企業があることを見せることも必要。</li> <li>・小型ロケットプロジェクトについては、町内企業の参加がないため、改善が必要。</li> <li>・計画期間終了につき、事業終了となるが、別の形で事業を続けるべき。</li> </ul>



# 事業No. 1 モノづくり集積地SUWAのヒトづくりプロジェクト(SUWAモノ・ヒトプロジェクト)



商談会



ロケット打ち上げ実験



ロボット創造教室



親子ものづくり教室



事業名		下諏訪町健康ステーション整備計画					
担当課		教育こども課 健康サポート係	連携自治体	下諏訪町単独事業			
事業の概要・目的		旧下諏訪町漕艇庫を改修し、利用者それぞれの目的や体力等に沿った運動を実践できる場として整備する。更に、施設利用者が行う個々のトレーニングを多様な指導者がパーソナルトレーナーとして指導できるよう、当町独自の「下諏訪町健康サポーター制度(個人)」を構築し、施設利用者のニーズに沿った指導ができる体制を構築することで、施設利用者の満足度を向上させるほか、サポーター(個人)は将来的にスポーツ関係事業の起業を目指す方々や、働き方改革により「ダブルワーク」や「空き時間の活用」等多様な働き方を行う意欲のある方々に担っていただくことで、新たな働き方創出の場とする。					
拠点整備費	総事業費 ※交付金以外含	138,065,833円	交付金決定額	67,883,000円	交付金充当額 (交付金確定額)	67,702,926円	
	経費内容	整備工事費	R2年度整備実施			109,635,044円	
		整備工事監理費				1,684,936円	
		効果促進事業費(トレーニング機器類の整備費)				26,745,853円	
		合計				138,065,833円	
運営費	総額	3,923,564円	施設運営費	3,923,564円	イベント等開催費		
	経費内容	健康運動施設(健康ステーション)管理費				3,923,564円	
総合戦略での位置付け		基本目標	【活性化】住民が安全・安心に暮らし、まちの宝を活かすことによって魅力を育み、ひとが集うまちをつくる				
		施策	健康長寿のまちづくり				
		重要業績評価指標(KPI)	健康スポーツゾーンを活用した講座回数及び参加者数				
		実績値	R元年度(基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		R7年度目標値 12回/160人	12回/145.2人	12回/92人	12回/89人		

事業詳細	
健康ステーション管理運営事業	
①	<p><b>目的・内容</b> 健康ステーションを適正に管理し、町民の自発的な健康づくりに寄与する施設として運営する。</p> <p><b>実施状況</b> 健康ステーションは供用開始から2年目を迎えた。感染予防対策を徹底したうえでの開館に努めるとともに、開館時間の試験延長等を実施するなど、利用者の要望を取り入れ、利便性向上に向けた運営の改善を行った。</p> <p><b>効果・成果</b> 新型コロナウイルスの影響もあったものの、登録者数も徐々に増加した。また、開館時間の延長等の効果で利用者数も増え、目標値を上回った。</p>
健康ステーション利用促進事業	
②	<p><b>目的・内容</b> 健康ステーション利用者の更なる獲得を目指し、施設の利用促進に繋がる各種事業を実施する。</p> <p><b>実施状況</b> 未利用者に施設に足を運んでもらうため、新規登録の機会としていただくため、無料マシン体験会を毎月2回実施した。また、施設利用者の定期的、継続的な利用を促すため、体組成測定会などのイベントを開催した。</p> <p><b>効果・成果</b> 令和4年度で571人が登録し、累計利用登録者が1242人(町内997人・町外245人)となった。また、習慣的に来館する利用者も増えている。</p>
健康サポーター活用事業	
③	<p><b>目的・内容</b> 専門的な知識・経験を持った「健康サポーター」の効果的な運用により、町民の健康増進に関する取り組みを推進するとともに、健康サポーターの働き方改革、活躍の場の創出に繋げる。</p> <p><b>実施状況</b> 健康サポーター制度の周知・募集を行い、15人の登録があった。(健康ステーションを中心に活動したのは1人) また、健康サポーターによる講座を7回実施した。</p> <p><b>効果・成果</b> 健康ステーションに配備したマシンを活用した運動講座を行い、好評であった。一般利用者に対するトレーニングのサポートの実施を計画していたが、該当するサポーターの登録がなく、未実施となった。</p>

本事業における重要業績評価指標 (KPI)	R4目標値	R4実績値	達成状況	状況の説明(未達成、実績値なしの場合、その理由)
下諏訪町健康ステーション利用者数(人)	4,856	6,674	達成	
下諏訪町健康サポーター(個人)登録者数(人)	5	1	未達成	個人トレーニングに関する知識・経験を有する方の登録が少なかつた
下諏訪町健康ステーションにおける健康サポーター(個人)によるサポートした件数(件)	50	7	未達成	健康サポーター登録者数の不足により、十分な活動ができなかつた

事業期間における本事業における重要業績評価指標 (KPI)		R2	R3	R4	R4までの合計	R4までの達成状況	R5	R6
下諏訪町健康ステーション利用者数(人)	目標値	0	3,000	4,856	7,856	達成	6,974	前年度実績+300
	実績値	0	4,256	6,674	10,930			
下諏訪町健康サポーター(個人)登録者数(人)	目標値	0	5	5	10	未達成	6	前年度実績+5
	実績値	0	0	1	1			
下諏訪町健康ステーションにおける健康サポーター(個人)によるサポートした件数(件)	目標値	0	50	50	100	未達成	57	前年度実績+50
	実績値	0	0	7	7			

事業効果	③地方創生に効果があった
理由	健康サポーター(個人)の登録者数及び健康サポーター(個人)によるサポート件数については、未達成となり、課題が残ったものの施設の利用登録者も順調に増え、延べ利用者数も目標値を大幅に上回る結果となったため、地域住民の健康増進に寄与する施設としての活用が進んでいることから、地方創生に効果があったものとする。

<事業効果>

- ①地方創生に非常に効果的であった 例: 全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
- ②地方創生に相当程度効果があった 例: 一部のKPIが目標値に達成しなかつたものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
- ③地方創生に効果があった 例: KPI達成状況は芳しくなかつたものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
- ④地方創生に対して効果がなかつた 例: KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したと言えないような場合

今後の方針	①事業の継続(計画通りに事業を継続する)
今後の方針の内容(発展や改善、見直しの具体的な内容)	令和3年の供用開始以降、コロナ禍での開館に苦慮した面はあったが、利用者数も順調に増加するなど施設も地域に定着しつつあり、一定の成果を得ることができた。健康サポーターの募集にも引き続き力を入れ、効果的な施設運営を心がけるなどし、計画期間内につき事業を継続する。

<今後の方針>

- ①事業の継続(計画通りに事業を継続する)
- ②事業の発展(事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる)
- ③事業の改善(事業の効果が不十分であったことから見直し(改善)を行う(または、行った))
- ④事業の中止(継続的な事業実施を予定していたが中止する(または、した))
- ⑤事業の終了(当初予定通り事業を終了する(または、した))

外部有識者からの評価	本事業は総合戦略の重要業績評価指標(KPI)達成に有効であった 有効とはいえない
外部有識者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広く認知され、開館時間延長などにより、利用者が増えるなど一定の成果は出ている。</li> <li>・健康サポーター制度は登録者が少なく、事業の見直しが必要。</li> <li>・スポーツ施設については、民間に任せるべきであり、行政では限界がある。</li> <li>・今後発生する機器の更新費等のため、使用料で採算がとれる運営体制の構築が必要。</li> </ul>

## 事業No. 2 下諏訪町健康ステーション整備計画



健康ステーション利用状況①



健康ステーション利用状況②



無料マシン体験会①



無料マシン体験会②



事業名		下諏訪町健康フィールド整備計画					
担当課		教育こども課 健康サポート係	連携自治体	下諏訪町単独事業			
事業の概要・目的		一般財団法人諏訪自動車協会が所有する車検場を改修し、「全天候・全世代」に対応できる運動場として整備する。 更に、健康教室等を指導するための当町独自の「下諏訪町健康サポーター制度(複数)」を構築し、教室参加者の満足度を向上させるとともに、サポーター(複数)を担う人材は、将来的にスポーツ関係事業の起業を目指す方や働き方改革で「ダブルワーク」「空き時間の活用」等多様な働き方を行う意欲のある住民にすることで、新たな働き方創出の場とする。					
拠点整備費	総事業費 <small>※交付金以外含</small>	26,113,400円	交付金決定額	13,238,000円	交付金充当額 (交付金確定額)	13,056,700円	
	経費内容	整備工事費	R2年度整備実施			20,414,709円	
		整備工事監理費				614,461円	
		効果促進事業費(駐車場整備費)				5,084,230円	
		合計		26,113,400円			
運営費	総額	5,182,434円	施設運営費	4,995,434円	イベント等開催費	187,000円	
	経費内容	健康運動施設(健康フィールド)管理費			4,995,434円		
		健康フィールド活用事業費			187,000円		
総合戦略での位置付け	基本目標	【活性化】住民が安全・安心に暮らし、まちの宝を活かすことによって魅力を育み、ひとが集うまちをつくる					
	施策	健康長寿のまちづくり					
	重要業績評価指標(KPI)	健康スポーツゾーンを活用した講座回数及び参加者数					
	実績値	R元年度(基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度(最終)
<small>R7年度目標値 12回/160人</small>		12回/145.2人	12回/92人	12回/89人			

事業詳細	
<b>健康フィールド管理運営事業</b>	
① 目的・内容	健康フィールドを適正に管理し、個人や団体の自主的な健康づくりの場、運動講座の会場等としての活用を図る。
① 実施状況	感染予防対策を徹底したうえで開館に努めるとともに、屋内フィールドについては開館時間を試験的にし、夜間の運動講座の会場としての活用を促した。 また、利用者の要望により、駐車場の夜間照明設備の設置や屋内フィールドに休憩室等を設置するなど、利用しやすい環境整備にも努めた。
① 効果・成果	新型コロナウイルスの影響もあつたものの、週末の団体利用を中心に利用者も増加し、目標値を上回った。
<b>健康フィールド利用促進事業</b>	
② 目的・内容	健康フィールド利用者の更なる獲得を目指し、施設の利用促進に繋がる各種事業を実施する。
② 実施状況	4月、6月、8月、10月に無料開放日を設け、気軽に施設を訪れていただく機会を作るとともに、健康サポーターなどによる運動講座を実施し、施設の周知と利用促進を図った。 また、開館時間を試験的に延長したタイミングに合わせて、夜間利用の促進を図るため、関係各所にポスターを掲示するなど周知を図った。
② 効果・成果	無料開放などイベントの実施や、運動教室の開催により、徐々に施設の知名度も上がり、利用者の増加につながっている。
<b>健康サポーター活用事業</b>	
③ 目的・内容	「健康サポーター制度」の効果的な運用により、町民の健康増進に関する取り組みを推進するとともに、健康サポーターの働き方改革・活躍の場の創出に繋げる。
③ 実施状況	健康サポーター制度の周知・募集を行い、15人の登録があつた。(健康フィールドを中心に活動したのは14人) 健康サポーターによる講座を31回開催するとともに、運動講座の補助等を29回実施した。
③ 効果・成果	健康サポーター制度により、多様な講座を開催することが可能となり、これまで講座に参加したことのない新たな受講者の獲得につながった。 また、個人で開催する教室の会場として、健康フィールドを利用するサポーターが出るなど、施設の利用促進にもつながった。

本事業における重要業績評価指標 (KPI)	R4目標値	R4実績値	達成状況	状況の説明(未達成、実績値なしの場合、その理由)
下諏訪町健康フィールド利用者数(人)	3,273	6,401	達成	
下諏訪町健康サポーター(複数)登録者数(人)	5	14	達成	
下諏訪町健康フィールドにおける健康サポーター(複数)によるサポートした件数(件)	50	60	達成	

事業期間における本事業における重要業績評価指標 (KPI)		R2	R3	R4	R4までの合計	R4までの達成状況	R5	R6
下諏訪町健康フィールド利用者数(人)	目標値	0	3,000	3,273	6,273	達成	6,701	前年度実績+300
	実績値	0	2,673	6,401	9,074			
下諏訪町健康サポーター(複数)登録者数(人)	目標値	0	5	5	10	達成	19	前年度実績+5
	実績値	0	0	14	14			
下諏訪町健康フィールドにおける健康サポーター(複数)によるサポートした件数(件)	目標値	0	50	50	100	未達成	110	前年度実績+50
	実績値	0	0	60	60			

事業効果	②地方創生に相当程度効果があった
理由	施設の利用者も順調に増え、目標値を大幅に上回る結果となったほか、また、健康サポーター(複数)の登録者数、サポート件数についても目標値を達成することができた。 各KPIの目標値を達成するとともに、地域住民の健康増進に寄与し、地域人材の活躍の場を創出できる施設として、地方創生に相当程度効果があったものと考えられる。

<事業効果>

- ①地方創生に非常に効果的であった 例:全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
- ②地方創生に相当程度効果があった 例:一部のKPIが目標値に達成しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
- ③地方創生に効果があった 例:KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
- ④地方創生に対して効果がなかった 例:KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言えないような場合

今後の方針	①事業の継続(計画通りに事業を継続する)
今後の方針の内容(発展や改善、見直しの具体的な内容)	令和3年の供用開始以降、コロナ禍での開館に苦慮した面はあったが、徐々にではあるものの施設の周知も進みつつあり、利用者数も順調に増加している。健康サポーターの募集にも引き続き力を入れ、一般利用の促進とともに、運動講座等での利活用も進めるなど、計画期間内につき事業を継続する。

<今後の方針>

- ①事業の継続(計画通りに事業を継続する)
- ②事業の発展(事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる)
- ③事業の改善(事業の効果が不十分であったことから見直し(改善)を行う(または、行った))
- ④事業の中止(継続的な事業実施を予定していたが中止する(または、した))
- ⑤事業の終了(当初予定通り事業を終了する(または、した))

外部有識者からの評価	本事業は総合戦略の重要業績評価指標(KPI)達成に有効であった 有効とはいえない
外部有識者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>•全てのKPIを達成している。</li> <li>•現役世代が仕事のあとに利用できるよう夜間照明施設の設置が必要。</li> <li>•地域住民の健康増進の場所として今後も有効的な活用を期待。</li> <li>•採算のとれる利用者数の目標とするなど、設備の長期利用を見据えた計画を策定するべき。</li> </ul>



# 事業No. 3 下諏訪町健康フィールド整備計画



無料開放(屋内フィールド)



運動教室(屋内フィールド)



子ども向け運動教室(屋外フィールド)



サッカー教室(屋外フィールド)



事業名		下諏訪町「諏訪湖活用拠点」施設整備計画					
担当課		教育こども課 スポーツ振興係	連携自治体	下諏訪町単独事業			
事業の概要・目的		諏訪湖を活用した水上スポーツの拠点として、ボートやカヌー等の体験型観光プログラムを扱う上での拠点となる施設を整備する。また、整備後は、観光客の滞在時間の拡大や観光消費額の増大を目的とする観光面での活用、地域住民の健康寿命の延伸を図る健康面での活用、大規模災害時に湖上を船で物資や人を搬送するための水上防災拠点としての防災面での活用を推進していく。					
拠点整備費	総事業費 ※交付金以外含	207,180,421円	交付金決定額	122,694,000円	交付金充当額 (交付金確定額)	103,590,210円	
	経費内容	諏訪湖活用拠点建築工事費			203,371,245円		
		諏訪湖活用拠点建築工事監理費			R元年度整備実施		3,809,176円
		合計				207,180,421円	
運営費	総額	6,313,382円	施設運営費	6,313,382円	イベント等開催費		
	経費内容	施設運営管理費用				3,893,382円	
		ローイングパークコース設置委託料				2,420,000円	
総合戦略での位置付け		基本目標	【人の流れ】町の資源や価値などの魅力を創造し、多様な人材が交流しながら、下諏訪町への新たなひとの流れをつくる				
		施策	まちの魅力を活かした過ごし方のできることの発信				
		重要業績評価指数(KPI)	観光消費額(1人あたりの消費単価)				
		実績値	R元年度(基準値)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		R7年度目標値 3,000円	2,343円	2,364円	2,744円		

事業詳細	
<b>体験プログラム開催事業</b>	
①	<p><b>目的・内容</b> 「諏訪湖活用拠点」施設を活用するため、諏訪湖で行うことができる体験プログラムを開催する。諏訪湖で行う体験プログラム、ボート体験をチームビルディングに活用する企業研修を実施する</p> <p><b>実施状況</b> 小中学生レガッタ・ボート体験会:11/12~13 参加者30人 (長野県ボート協会)</p> <p><b>効果・成果</b> 体験会を開催することで、諏訪湖を活用した競技に触れる事業に取り組むことができたが、新型コロナウイルスの感染状況等により開催回数自体を増やすことができなかった。</p>
<b>企業研修開催事業</b>	
②	<p><b>目的・内容</b> ボート体験をチームビルディングに活用する企業研修を実施する</p> <p><b>実施状況</b> 開催した企業研修なし</p> <p><b>効果・成果</b> 企業研修実施に向けた検討を進めてくださる企業もあったが、新型コロナウイルスの感染状況等により、令和4年度は企業研修等を実施することができなかった。</p>
<b>健康増進教室</b>	
③	<p><b>目的・内容</b> 拠点を活用した地域住民への健康増進事業を実施する。</p> <p><b>実施状況</b> 地区行事における小学生を主体としたボート体験会:8/7 参加者12人 (下諏訪町漕艇協会の協力を得て開催)</p> <p><b>効果・成果</b> 参加者全員が協力して漕ぐことで得られる成果などを体感できる、ボート体験を行うことで、規律の重要性や協調性、自主性が育まれたほか、全身運動である漕ぎの動作は、参加者一人一人の健康増進に寄与するものとなった。その他の教室の開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症の状況により、多くの教室を開催できなかった。</p>

本事業における重要業績評価指標 (KPI)	R4目標値	R4実績値	達成状況	状況の説明(未達成、実績値なしの場合、その理由)
諏訪湖で行うことができる体験プログラムの参加者数(人)	138	30	未達成	一部体験会を実施できたものの、新型コロナウイルスの感染拡大により実施できなかった。
ボート体験をチームビルディングに活用する企業研修の参加者数(人)	200	0	未達成	新型コロナウイルスの感染拡大により実施することができなかった。
拠点を活用した健康増進教室の参加者数(人)	100	12	未達成	新型コロナウイルスの感染拡大により実施することができなかった。

事業期間における本事業における重要業績評価指標 (KPI)		R1	R2	R3	R4	R4までの合計	R4までの達成状況	R5
諏訪湖で行うことができる体験プログラムの参加者数(人)	目標値	0	700	300	138	1,138	未達成	130
	実績値	0	0	38	30	68		
ボート体験をチームビルディングに活用する企業研修の参加者数(人)	目標値	0	200	200	200	600	未達成	200
	実績値	0	0	0	0	0		
拠点を活用した健康増進教室の参加者数(人)	目標値	0	100	100	163	363	未達成	112
	実績値	0	175	63	12	250		

事業効果	③地方創生に効果があった
理由	新型コロナウイルス感染症の影響による制限があった中ではあるが、足湯を含めた一帯はボート競技者をはじめ、ウォーキングやランニングなどに取り組む方々の新たな「拠点」として定着しており、また地区行事における小学生を主体としたボート体験会など、これまでに見られなかった取り組みが見られていることから地域の拠点としての効果が出始めていると感じる。さらに事業以外の取り組みではあるが、全日本中学選手権競漕大会を誘致し、ボート競技の場としての認知度も全国的に上がっているため、KPIの達成状況は芳しくはないが、地方創生に効果があったと考える。

<事業効果>

- ①地方創生に非常に効果的であった 例:全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
- ②地方創生に相当程度効果があった 例:一部のKPIが目標値に達成しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
- ③地方創生に効果があった 例:KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
- ④地方創生に対して効果がなかった 例:KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言えないような場合

今後の方針	①事業の継続(計画通りに事業を継続する)
今後の方針の内容(発展や改善、見直しの具体的な内容)	新型コロナウイルス感染症の取り扱いが見直され、それまでの規制が緩和される中、イベントやレガッタ大会等をはじめ、体験プログラムや企業研修、健康増進教室などを積極的に開催していくと共に、事業を広く周知していき、諏訪湖の利活用の展開を進めるなど事業を継続する。

<今後の方針>

- ①事業の継続(計画通りに事業を継続する)
- ②事業の発展(事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる)
- ③事業の改善(事業の効果が不十分であったことから見直し(改善)を行う(または、行った))
- ④事業の中止(継続的な事業実施を予定していたが中止する(または、した))
- ⑤事業の終了(当初予定通り事業を終了する(または、した))

外部有識者からの評価	本事業は総合戦略の重要業績評価指標(KPI)達成に有効であった / <b>有効とはいえない</b>
外部有識者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全てのKPIが未達成である。</li> <li>・ボートはメジャースポーツではなく、複数人の参加が必要であることから、もっとプログラムを増やす工夫や施設を活用するアイデアを出すべきである。</li> <li>・目的にある観光客の滞在時間拡大や消費拡大にはつながっていない。</li> </ul>

# 事業No. 4 下諏訪町「諏訪湖活用拠点」施設整備計画



小中学生レガッタ・ボート体験会①



小中学生レガッタ・ボート体験会②



健康増進教室①



健康増進教室②